

食品表示検定 中級 試験問題例
(第3回試験問題より抜粋)

2011年8月
食品表示検定協会

【出題範囲】 認定テキスト・中級からの基礎知識と、それを理解した上での応用力を問います。

【問題例1】 次の文は、アレルギー表示についてまとめたものです。次のア～ウの部分にあてはまる最も適切な語句を、下記語群の①～③の中から1つ選んでください。

食品にアレルギー表示をするとき、限られた表示スペースに[ア]に関する表示をすることが困難な場合があるため、消費者が食品を購入する際、その表示からアレルギー物質が使用されていることを子供でも容易に判断できるような表記であれば「アレルギー表示」を行っていると認められる[イ]という方法がある。例えば「乳」の文字に代えて[ウ]等と表示する方法がそれに当たる。

- ア. ① 指定原材料等 ② 特定原材料等 ③ 特別原材料等
- イ. ① 類別表記 ② 拡大表記 ③ 代替表記
- ウ. ① バター ② クリーム ③ ホエイパウダー

【問題例2】 次の表示例の中で、最も不適切な表示部分を①～④の中から1つ選んでください。

① ⇒	名称	こいくちしょうゆ
② ⇒	原材料名	大豆、脱脂加工大豆、小麦、食塩、アルコール
③ ⇒	内容量	100ml
④ ⇒	賞味期限	2011.12
	保存方法	直射日光を避け常温で保存してください。
	製造者	〇〇醤油株式会社 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

【問題例3】 「原材料名の表示」に関する次の①～④の中で、「複合原材料の名称からその原材料が明らかなき」として不適切なものを1つ選んでください。

- ① 鶏唐揚げ ② ミートボール ③ ごまあえ ④ がんもどき

